

傾向トシテ労資間ノ階級争闘ハ可ナリ熾烈ヨ加ハ
タリト虽モ外面的運動ハ概穩和ニシテ唯一ニ争議
(大阪鉄工場櫻島工場及大島制鋼所争議)ニ際シテ窮餘騷擾
的行動アリタルニ過ギザリキ但内面的ニハ大体ニ
於テ団体ノ結束ヲ鞏固ニシ思想ノ鍛練ニ徹底シ隱
忍自重以テ将来ニ供ハントシタルモノ多カリシガ
如シ共ノ具体的運動ノ稍々退嬰ノ感アリシハ不況
時代ノ争議ニ於ケルモノトシテ蓋己ムヲ得ザルニ

出テハルベキカ。因ニ大正十一年中同盟罷業数ハ
總テ三百五十件ナリキ